

中村 悦子

千葉大学大学院医学薬学府 博士課程

高齢者を支援する薬局参加型健康維持・増進システムサービス

中高年層の健康維持・増進あるいは生活習慣病の発症進展予防は急務であるが、これには、医療関係者が運動習慣継続や健康・生活相談に効率良く取り組むことが効果的である。

そこで、中高年者の運動継続による健康維持・増進を支援するため、千葉市の薬局と連携した新しい健康支援システムサービスを構築し、実証実験を行った。

その結果、本研究に参加した者のうち7割は運動量が若干多くなったと回答し、変化は少なくとも意識するようになった者を含めると約8割となり、健康づくりに効果があることが示された。薬局側も住民の健康に役立ち、医療サービスの一助となる具体的な取り組みであるとの評価が示された。

したがって、高齢者が益々増加する中、薬局を利用した本システムは有用であり、地域の新しい医療連携・健康で支援サービスとなる可能性が示唆された。